

近畿部会 市民公開講座

「メタボリックシンドロームとくすり」を開催して

第114回日本薬理学会近畿部会 会長 齋藤尚亮

日本薬理学会主催の近畿部会市民公開講座は、2008年11月15日(土)に神戸商工会議所神商ホールにて、前日の第114回薬理学会近畿部会に引き続き行われました。今回のテーマは「メタボリックシンドロームとくすり」とし、循環器内科の医師(神戸大学医学研究科・循環器内科・平田健一教授)と製薬会社の研究者(大日本住友製薬・小池晴彦博士)の2名の方にご講演をお願いしました。

平田教授には「メタボリックシンドロームと急性心筋梗塞～急性心筋梗塞で突然死しないために～」をタイトルに、実際の臨床例を示し、急性心筋梗塞の恐ろしさ、発症する機序などを分かりやすく説明していただき、この疾患を避けるための方法として、メタボリックシンドロームを予防することが重要であることをお話いただきました。無症候でも突然発症することや、小学生などの子供からも発症の危険性があることを示す実際のデータは、多くの人の関心を得たようです。多くの質問が集まり、予定時間を越えてしまうほどでした。中には参加者の中には実際に心筋梗塞を患った方もおられ、今後の治療などに関する熱心な質問もありました。

続いて、小池先生には「あなたをメタボリックシンドロームから守るために～あなたに役立つお薬の使い方～」として、メタボリックシンドロームがもたらす数々の病気の発症機序、それに対する薬物治療についてお話いただきました。特に高血圧、糖尿病、高脂血症については病態と治療について分かりやすく講演いただきました。メタボリックシンドロームの予防としては、薬物治療を行う以前に、毎日の生活習慣が重要であることを丁寧に説明いただき、製薬企業としてはむしろ反対の立場からの趣旨のお話であり、大変説得力のあるものでありました。

会場へのアクセス主要駅でのポスター掲示、神戸新聞、読売新聞などへの案内掲載を行い、積極的に市民の参加を募りました。50名以上の参加者があり、公開講座もアットホームな雰囲気が進められたため会場からの多くの質問があり、市民の方に市民公開講座を身近なものと感じていただいたと思えました。

最後にこの公開講座の開催にあたり、二人の講師の先生を始め、ご後援いただきました神戸市医師会、兵庫県医師会、企業・法人の皆さんに対しまして、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

(文責：齋藤尚亮)

市民公開講座
メタボリックシンドロームとくすり

主催 日本薬理学会

日時: 2008年11月15日(土) 午後2時から4時まで
場所: 神戸市商工会議所 神商ホール (ポートアイランド内)
入場無料

講師
平田 健一 教授 (神戸大・院・医 内科学・循環器内科)
メタボリックシンドロームと急性心筋梗塞
～急性心筋梗塞で突然死しないために～
小池 晴彦 先生 (大日本住友製薬株式会社・開発統括部)
あなたをメタボリックシンドロームから守るために
～あなたに役立つお薬の使い方～

お問い合わせ先
神戸大学バイオシグナル研究センター(齋藤、上山まで)
電話: 078-803-5961, 5962 Fax: 078-803-5971
E-mail: pharmaco@people.kobe-u.ac.jp
あるいはホームページをご覧ください
<http://www.research.kobe-u.ac.jp/brcs-saito/jpskink114/kokai/koza.html>